

市長定例記者会見報告事項概要(11月)

令和2年11月18日(水)午前10時～

1. 令和3年度の予算編成等に向けた県への要望について

- 現在、来年度の予算編成に向けて市を挙げて取り組んでいる。
- こうした中、県との連携や予算措置などが必要なものについて、11月19日(木)に県への要望を実施する。
- 村岡県知事をはじめ、県議会や関係部局にも要望を実施する。
- 重点項目として、
 - ① 幹線道路のネットワーク構想の推進
 - ② 市街地の道路整備
 - ③ 「農林業の知と技の拠点」の形成を契機とした農林業の活性化の三点について特に要望させていただく。
- 国に対しては、国道2号線の富海・台道の拡幅について、山口市と一体となって、まずは中国地方整備局へ要望し、機を見て国土交通省本省へも要望していきたいと考えている。

2. 第51回防府読売マラソンについて

- 12月20日(日)に第51回防府読売マラソン大会を開催する。
- 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、一般のランナーについては県内の方に限ることとしたため、出場者は大幅に減ることとなったが、歴史と伝統を絶やすことなく、しっかりと感染防止対策を講じた上で開催する。
- 正式決定はしていないが、川内優輝選手が10年連続で出場される予定と聞いており、カネボウの高岡寿成監督からは「カネボウの選手を出場

させたい。」とのお話を伺っている。

- 本大会は、毎年、「日本視覚障がい女子マラソン選手権大会」を兼ねて開催しているが、今大会に限り、「東京2020パラリンピック代表推薦選手追加選考大会」及び視覚障がい男子の部も含めた「日本選手権大会」を兼ねることとなったため、大会の正式名称が変更となる。
- 市民の皆様には、交通規制等で多大なご迷惑をおかけする。
- また、今年は、沿道での応援はご遠慮いただき、テレビやラジオの前で、力走する選手を応援していただきたい。

3. 12月の観光行事について

① 笑い講

- 12月6日（日）午前11時から、「笑い講」が小俣八幡宮で行われる。
- 今年の収穫の感謝と来年の豊作を祈り、1年の憂（う）さを豪快に笑い飛ばす行事。
- 例年は屋内で行われるが、新型コロナウイルス感染症対策のため、今年は屋外の境内で講員全員が笑う形式で開催される。

② 第11回お笑い講世界選手権大会

- 毎年、読売マラソン大会の前日に開催されており、今年は12月19日（土）午後1時から、ルルサス防府 多目的ホールで開催される。
- 予選会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、コミュニケーションアプリ「LINE」を利用した動画投稿方式で行い、予選を通過した上位4チームが、12月19日（土）の本選に出場する。
- 本選については、新型コロナウイルス感染症対策のため、ルルサス防府 多目的ホールでの観覧は先着50名の事前申込制となっている。
- 本選に出場した4チームの感謝の笑い、祈りの笑い、再出発の笑いによ

る「笑いの力」でコロナを吹き飛ばし、新しい年を迎えたいと思っている。

4. マイナンバーカード交付室の体制強化について

- 現在、行政手続のデジタル化が喫緊の課題となっているが、国や県に比べ住民と接することが多い基礎自治体である市においては、デジタル化を進めるためには何よりもマイナンバーカードの普及が大切であると考えている。
- 10月1日時点で本市の交付率は21.4%であり、全国（20.5%）や県内平均（20.8%）よりも上回っているが、国は令和4年度末にほぼ全国民に行き渡ることを目指している。
- マイナンバーカードの普及率を上げるため、現在、月2回程度開設している週末の交付窓口を、毎週土曜日又は日曜日のいずれかに開設するとともに、市の出張所や各企業等に出張申請に出向くなど、交付体制の強化を図る予定としている。
- そのため、来年度の組織改編を待たずに、本年12月から、現在兼務で配置しているマイナンバーカード交付室長を専任の室長にし、また、現在、兼務の室長と専任2名、計3名の人員を、専任6名程度に増員するため、最終調整を行っているところ。

5. 年末年始に向けて

- 冬場を控え、新型コロナウイルスの新規感染者数が全国的に増加している。
- 昨日、防府市内でも感染者が確認され、計14名となった。
- 今年の年末は、新型コロナウイルス感染症対策のため、防府天満宮を始

め、市内の神社やお寺では、12月25日(金)から、正月詣を受け付けるとされている。

- 市民の皆様には、こうした点に十分配慮され、感染防止対策を徹底していただき、希望を持って新しい年を迎えていただきたい。